

第65回卒業証書授与式 興讓の精神を抱いて



門出の言葉

卒業生代表 大池 清士
(米沢二中出身)

私にとって高校生活とは何だったのか、一言で言うと「成長」です。文武両道を目指し、学業、部活動、生徒自治会活動などのあらゆる面で大きく成長できたと思っています。この成長の背景にあるのは自分の強い

意志はもちろんのこと、「信頼できる先生方」「同じような高い志を持ち切磋琢磨できる仲間」「私たちを慕ってくれる素直な後輩」「日々の生活を支えてくれる家族」の存在があったからだと感じています。このように、恵まれた環境の中で過ごせた三年間は私たちに与った誇りとなっています。

私には高校生活を送る中で常に心がけていたことがあります。それは「何があっても全てやりきる」ということです。そして興讓館での三年間を経て今感じているのは「人生、忙しい方が楽しい」ということです。これが高校生活で得た最大の収穫です。私たちのこれからの使命は、興讓の精神にもあるように世のため、人のために尽くし貢献することです。進む道は各々違えど最終的に目指す先は同じです。それは未来の良き日本を創ることです。最後になりますが、皆さんに誓います。ここにいる卒業生一同（一九六名）は必ずそれぞれの夢を叶えます。これからどんな壁にぶつかろうと、困難が待っているとしても、栄光への道を突き進みます。そしてあらゆる分野で日本を支えます。日本を支えます。良き日本を創り上げてみせます。私にはそんな断言できる自信があります。様々な場面で行っている卒業生が活躍し貢献する姿を期待して待っています。愛あふれる三年間をありがとう。

我が誇り高き母校、米沢興讓館。



平成25年3月22日発行
第26号
山形県立
米沢興讓館高等学校
〒992-1443
山形県米沢市大字笹野1101
TEL 0238-38-4741
FAX 0238-38-2531
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

饒の言葉

在校生代表 色 摩 伸 平
(米沢六中出身)

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

興讓館で過ごした輝かしい日々。卒業生の皆さんは、その日々を回想しておられることでしょう。同時に、私たちが在校生もまた、先輩方と一緒に味わった濃厚な体験の記憶に、改めて胸を熱くしています。

日々の鍛錬の結果作りあげられた体。苦業を共にしてきたからこそ、できあがった団結力。それらを遺憾なく発揮なされた体育祭。騎馬戦などの団体競技では特に、私たちは手も足も出ませんでした。また、合唱コンクールにおいても、時間を有効に使い、コツコツと練習を重ねていらつらつしました。そして完成させた歌声は、下級生の追隨を許しませんでした。どの行事でも一丸となって本気で取り組む姿勢に、私たちは何度も感動を覚えました。

部活動では、私たち後輩を指導してくださりながらも、自分たちの培ってきた力を大成させ、数々の華々しい活躍を収められました。その勇志は私達後輩の脳裏に深く刻まれています。

そして学習に向かう姿。早朝から日が暮れてもお、一心不乱に学習し、先生方に教えを請い、僅かな時間でも単語帳に目を向け、努力を積み重ねていらつらつしました。目標達成に向けて己を磨くその姿には、力強さを超えた、美しさを感じられました。このような先輩方の精神、つまり「興讓の精神」は、私たちの血や肉となり残り続けます。先輩方がそうしてきたように、私たちも先輩方の背中を真っ直ぐに追いつき、あるべき興讓館生へと成長していきたいと思えます。そして今度は、私たちが「興讓の精神」を後世に伝えていかなければなりません。その責務の重さに、不安でいっぱいですが、在校生一丸となって、精一杯頑張ることを、ここで誓い申し上げます。

1月
22日

予餞会

色摩 伸平
(米沢六中出身)

三年生がセンター試験の自己採点を行った翌日、一月二十二日に、予餞会が行われました。予餞会は興譲館の伝統行事の一つで、一、二年生が三年生への感謝と激励の意を込めて、趣向を凝らした出し物の発表を行います。

昨年度までは発表と校内装飾を行うクラスを分けていましたが、今年度は全てのクラスが発表を行いました。演劇・ダンス・歌・映像作品・横断幕の披露など、次々とユニークな発表がなされ、例年以上の盛り上がりを見せました。三年生の皆さんにも一時的な休息を楽しんで頂けたのではないかと思います。



がんばれ！ 興譲館



センター試験 当日激励

1月
19日



センター試験 激励会

1月
18日

美術部
第37回
山形県高校総合文化祭
東置賜大会ポスター



高総文祭テーマ

「咲きほころぶ

文化の花々

置賜の地で」

最優秀賞

加藤 美緒 (米沢一中出身)

吹奏楽研究クラブ
全日本アンサンブルコンテスト東北大会
木管6重奏 銀賞

私たち吹奏楽研究クラブ木管六重奏は、アンサンブルコンテスト東北大会に出場してきました。東北大会出場は私たちがずっと目標としていた大会だったので、感無量でした。

私たちは、本番のたった五分のために五カ月間練習に励んできました。本番では、緊張の中でも自分たちの曲に対する思いを音に込めることができ、とても嬉しかったです。また、これからの目標となる、レベルの高い演奏にも触れることができました。今まで支えてくださった方々に感謝を申し上げます。そして、今回の経験を今後の活動に活かしていきたいです。



東北大会に出場して

寺島 瑞季 (米沢一中出身)

平成24年度 実用英語技能検定(英検)『文部科学大臣奨励賞』受賞!

この賞は、今年度各部門で極めて優秀であった団体に贈られる賞で、全国の高校で1校しか受賞することができません。本校では毎年2年生を中心に、英検を団体受験しており、この受賞は本校の英語への取り組み、そしてそれに対する生徒の皆さんの努力が評価されたものです。これからも、この受賞に恥ずかしくない取り組みに努めて参ります。

平成24年度第3回(2月)合格者数：2級 50名・準2級 87名・合計 137名

第三十六回 上杉雪灯籠祭り



草刈 あずき

(白沼中学出身)

私は今年、二回目となる雪灯籠制作に参加しました。私達は、米沢のマスコットキャラクターの「かねたん」の雪像と、雪灯籠を作りました。悪天候の中での作業は簡単ではありませんでしたが、とても楽しく、完成した時には大きな達成感を得ました。皆で協力したからこそできたのだと思います。参加したこの部活も、立派な雪灯籠を完成させていました。

当日ライトアップされた雪灯籠はとても綺麗で、評判も良かったそうです。米沢ならではの、冬の行事に参加でき、良い思い出になりました。

東北・北海道地区SSH指定校発表会

1月26日、27日に、SSHに指定されている東北・北海道地区の高校の発表会が行われ、本校の理数科2年生とSSクラブ1年生が参加しました。



SSH指定校発表会に参加して

渡部 想乃子 (長井南中出身)

今回、私たち理数科2年生は東北・北海道地区のSSH指定校発表会に参加させていただきました。

鋭い質問が飛び交い、私たちは終始圧倒されてばかりでした。しかし、このような発表会を経験したことで、私たち一人一人が普段学校内では学べない事を学ぶことができました。他の地区の、自分たちと同年代の高校生がどんなことを疑問に思っているのか。また、それを、どんな風に解決しようとしているのか。参考にしたいと思うような考えをたくさん見聞きすることができました。

今後は、今回学んだことを生かし、課題研究を進めていきたいと思えます。

FSコース別 講義・研修タイトル一覧

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 有機ELと地域産業と経済 | 6 足もとからの科学 |
| 2 人間社会とロボット | 7 スポーツ・保健とライフサイエンス |
| 3 物質と化学 | 8 法と科学の哲学 |
| 4 伝統野菜のサイエンスアプローチ | 9 文化財保存と科学 |
| 5 古文書からみる文化と科学・文献解析 | 10 英語発音と科学 |

活動の様子



SSH 生徒研究発表会



三月二十日に行われたSSH生徒研究発表会にて、二年生理数科が一年間研究した課題を発表し、一年生が一年間の異分野融合サイエンス(FS)コースでの学習内容をポスターにまとめて発表しました。

一年生理数科発表内容

- 物理班…水ロケット、圧電効果、風力発電
- 化学班…石鹼の劣化、化学発光
- 生物班…植物と音楽、カエルの体色変化
- 地学班…地震予知
- 数学班…兀への挑戦

保護者からのエール

行ってきました〜す

一年保護者 村山 竜史さん

「オー、気をつけてなあ。」
 って、あれ？今週の土日も学校か。最近の高校生は随分忙しいんだな。けど先週は模試だって言ってたよっただが、今週は何だ？

SSHとは、文部科学省により指定された高校が科学技術振興機構などの支援を受け、将来国際的に活躍し得る科学技術人材等の育成を……、ふむ。

要するに他の高校では経験できないような特別な所に行ったり、普通なら会えないような人の話を直接聞けたりするのか。ラッキーじゃん。

教科書は様々な事象を整然と提示し、先生は行間を補い理解を促して下さる。一方で「事件は現場で起きている」という有名なセリフと同様、発見や発明もやはり現場から始まるもの。手触りや色彩、音を感じられる空間。望遠鏡で見上げる彼方と顕微鏡でのぞき込むミクロの世界。学校外県外国外の仲間達との出会い。自ら能動的に自由な視点で興味関心「面白い！」を探求できるのは、対象が無限な現場だからこそ。

興譲館生よ、教室を飛び出せ！

もちろん、SSH指定は先輩達の頑張りとお先生方のお力添えがあつてのこと。皆さんは感謝の気持ちを携えつつ、目の前のラッキーを気負うことなく存分に楽しんで下さい。忙しいんだけどね。

「ただいまー」

お、帰ってきたか。

「お帰り。どうだ、面白かったかい？」